工業部会通信

（発行）
相模原商工会議所工業部会

（編集）
かながわ経済新聞社
代表：千葉龍太
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
TEL：042（851）2021
FAX：042（851）3532

随時発行です。工業部会の定期活動をご紹介します。印刷しご自由にお読み下さい。

再生医療の最先端

近未来技術研究会が講演会

東京理科大・辻教授語る

毛髪再生の研究も

相模原商工会議所・近未来技術研究会はこのほど、市立産業会館（中央区中央）で講演会「最先端、ここまできた再生医療の近未来」を開いた。歯や毛髪の再生研究で知られる東京理科大学の辻孝教授が講演した。

辻教授は、国内の再生医療を取り巻く環境について、「医療制度は審査が厳しい。国内では、皮膚と軟骨の2種類の再生医療だけが認可されている。しかし、昨年、再生医療促進法が成立し、多くの研究機関でiPS細胞の実用化が期待されている」と前置き。

その上で、「将来の市場規模は2・5兆円に広がる」との展望も語った。辻教授は自らの研究についても触れた。

「ラットの胎児から上皮細胞や間葉細胞を取り出し、体の一部になる種の作り方を研究した。歯や髪、唾液線の種を製作することができた」と説明していた。

また、動物実験で成功した毛髪再生では、「幹細胞から造った直径0・1ミリメートルの髪の種を毛がない場所に植えると、約8割の確立で発毛する」と話していた。

産業会館で話す辻教授

新もの補助

市内で申請始まる

商業にも対象拡大

消費増税に備えた政府の経済対策の柱の一つである「新・ものづくり補助金」の申請が県内でも始まっている。

1次締め切り分は3月14日、2次締め切り分は5月14日。

同補助金は昨年にスタートしたもので、革新的な商品開発やサービスを考える中小企業が対象。設備投資など補助する。

今回から、製造業だけでなく商業・サービス分野にも対象を拡大した。試作品開発や設備投資に掛かる経費の一部を、最大1000万円まで補助する「一般型」。

このほか、医療や環境・エネルギーといった分野でも設備投資などを1500万まで支援する「成長分野型」。小規模事業者を対象にした700万まで補助する「小規模事業型」の3種類を用意した。

関係者によると、昨年、2回行われた同補助金には、県内で計1000件の申請があった。このうち、採択されたのは428件（採択率42・8％）だった。

ただ、支援対象に新しく商業・サービス業が加わったことで、採択へのハードルが高まるとの見方もある。

一方、相模原市内では2月17日、市立産業会館で同補助金に関する説明会が開かれた＝写真。約70社が参加。市や市産業振興財団の職員らが、同補助金の概要や申請のポイントなどを解説した。

過去最大規模に

相模原市の予算案

相模原市は、経済・雇用、都市基盤整備や防災・減災対策に重点を置いた2014年度の当初予算案を発表した。

一般会計は前年度比5・4％増となる2576億円に増えた。

昨年度に続き3月の補正予算と一体編成したため予算規模は同2・5％増の2624億円の過去最大規模となった。

雇用・経済対策では約270億円を計上した。経済では、工場の新・改設に奨励金を交付する「企業誘致等推進事業」や、中小企業に融資を行う「中小企業景気対策事業」なども行うという。

このほか、相模総合補給廠の共同使用区域にフェンスを設ける予定。スポーツレクリエーションゾーンの基本設計をするという。

雇用では、ハローワークや就職センターなどの4つの就職支援機関を集約した「相模原市総合就職支援センター」を運営する。

（記事提供・かながわ経済新聞社）

工業部会所属の東鈴紙器

なでしこブランド認定

市内企業初

女性が開発に携わった商品を県が認定する「神奈川なでしこブランド」（KNB）に、東鈴紙器（中央区小町通）が段ボールで作ったベビー用の机といす＝写真＝が、選ばれた。市内企業の認定は初めて。東鈴紙器は工業部会の所属企業。

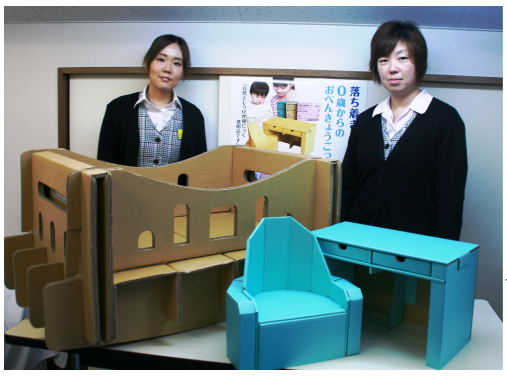
販売サイト「トーレーショップ」で展開している。ベビー用の机といすは、6カ月～3才児が対象。ピンク、イエロー、ブルーの3種類ある。価格は机といすのセットで3990円。

アイデアを提案したのは同社の西出英子さん。出産したばかりの友人と子供の成長に関して話していた時に、「子どもはすぐ大きくなるから、資源ごみになる段ボールで家具はできないかな」という会話が開発のきっかけになった。

2012年にプロジェクトチームを結成。育児経験のある男女4人で始まった。開発では、パーツを少なくしながら十分な機能を実現するのに苦労したという。

今後は、第2弾としてゆりかごや、おもちゃ箱を製作する予定。ゆりかごに関しては試作品もできた。

現在はデザインの検討をしており、5月からの販売を目指す。



小規模事業者補助金説明会

産業会館で開催

「小規模事業者持続化補助金」（1次公募分）の緊急説明会が3月13日の午後7時から、市立産業会館で緊急開催される。

同補助金は、経営計画に基づき、小規模事業者による創意工夫を凝らした販路開拓に係る費用の3分の2（原則最大50万まで）を国が補助するもの。詳細は相模原商工会議所のホームページに掲載されている。